

授業科目名	が ん 看 護			担当教員	西山 陽子	
開講年次	2 年前期	セメスター	3	時間数(単位数)	15 (1)	
必修選択	必修	授業形態	講義	使用教室		
授業の目的	さまざまな健康段階にあるがん患者の身体機能、心理・社会的機能の特徴と健康問題について理解する。					
到達目標	1. がん治療が生活に与える影響とがんとともに生きる人の特徴を理解する。 2. 様々な治療の特徴と、それぞれに特有な療養生活を支える看護の基本を説明できる。 3. がん治療の変化に伴う今後の課題について考える。					
授業計画						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者	
1	現在のがん医療 がんの病態と医療 がん患者の臨床経過と症状	講義	予習：がんの発生、影響要因について学習する	1 時間	西山	
2	がんとともに生きる人の特徴 がん治療の概要 薬物療法・放射線療法について	講義	予習：がんの三大治療について学習する	1 時間	西山	
3	がん治療を受ける人への看護(1) 手術療法を受ける人への看護 目的別、侵襲度別にみた手術の種類 手術前後の看護	講義	予習：がん手術療法を受ける患者の看護についてまとめる	1 時間	濱元	
4	がん治療を受ける人への看護(2) 薬物療法を受ける人への看護 薬物療法の種類と作用機序 薬物療法の副作用 治療計画と準備教育 薬物療法の副作用に対する看護	演習	予習：課題についてグループでまとめる 復習：質疑応答があった部分を追加し、薬物療法の看護についてまとめる	2 時間	西山	
5	がん治療を受ける人への看護(3) 放射線療法を受ける人への看護 放射線療法の特徴と治療計画 外部放射線療法について 小線源療法について 有害事象と看護	演習	予習：課題についてグループでまとめる 復習：質疑応答があった部分を追加し、放射線療法の看護についてまとめる	2 時間	西山	
6	がん治療を受ける人への看護(4) 治療法と看護のまとめ 暴露予防について	講義	予習：がん治療とその看護についてまとめる 復習：講義後に予習や第4・5回発表資料に付け加えてまとめる	1 時間	西山	
7	がんと共に生きる人への看護 肺がんで治療を受ける方への看護	講義 演習	予習：肺がんの病態と治療についてまとめる	1 時間	西山	
8	がんと共に生きる人への看護 がん治療の場と看護の役割 意思決定支援 全体のまとめ	講義	予習：講義全体の振り返り	1 時間	西山	

先行履修科目					
テキスト	小松浩子他：系統看護学講座 別巻 がん看護学 第2版, 医学書院, 2017.				
参考文献	適宜示す				
メッセージ	がんは日本人の死因の第1位ですが、治療の発展は著しく、がんとともに長く生きることも可能な時代となりました。しかし、治療の中には深刻な身体侵襲のある副作用を伴うものも多く、最先端の治療の中には効果予測が困難なものもあり、身体的および心理社会的にも大きな影響を与えます。様々ながんの治療方法とその副作用を理解し、療養生活を支える看護を学んでください。				
科目の位置づけ	既習の専門基礎科目を基に、がんとともに生きる人を対象として看護を展開・応用する科目である。				
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力
		○			◎
評価方法	発表(10%)、課題への取り組み(40%)、定期試験(50%)				